

お父さん、お母さんに聞きました 親が寄り添う、子のUターン

わが子に戻ってきてほしい。離れた場所に住む子のために親ができることって何だろう。そこで、前ページに登場した方々の親御さんに、経験談を伺いました。

Q1 お子さんのUターンを促すためにどんなことをしましたか。



A 子どもの仕事が青森県でもできるか、子どもがやりたい仕事があるかを見極めるといいと思います。また、県の移住支援金などのサポートがあるので、県内にいる家族が率先して情報を調べ、子どもと共有すると思います。
(奥崎さんの父・50代)



A 娘が地元に戻ろうか悩んでいるときに、新聞で見かけた県主催のUターンイベントの情報を教えたりしていました。
(佐々木さんの母・50代)

Q2 お子さんにアドバイスなどをしましたか。



A 「地元に戻ってきたい」と言われた時に、いろいろ細かいことを言わずに「いいと思うよ」と伝えたのですが、子どもからは、それがありがたかったと言われました。
(田中さんの母・70代)

Q3 お子さんがUターンして良かったことを教えてください。



A 青森でリモートワークをすると聞き、本当にできるのか心配でしたが、息子が帰ってきたことで、家族の関係性が変わり、みんなが穏やかになりました。息子が仕事をする姿を間近で見て、私もほっとし、成長を実感しました。
(奥崎さんの父・50代)

自信を持って伝えよう 私が思う地元の良さ

県では、若者の県外流出の要因を探るため、県外在住の学生やその保護者などを対象に、アンケートやインタビューを実施しました。そこから見てきたのは、子の可能性を狭めまいとして、「青森で就職してほしい」という本心を言えずにいる親の意識や、一度は都会で就職したとしても「いつかは青森に戻りたい」と思っている若者の姿でした。

親の本音
本当は
そばに
いてほしい。



安心できる場所で暮らしてほしい。
本当は、県内が安心できる。

この年になり、自分の親のことを考えると、家族のそばにいられることが幸せだと思う。

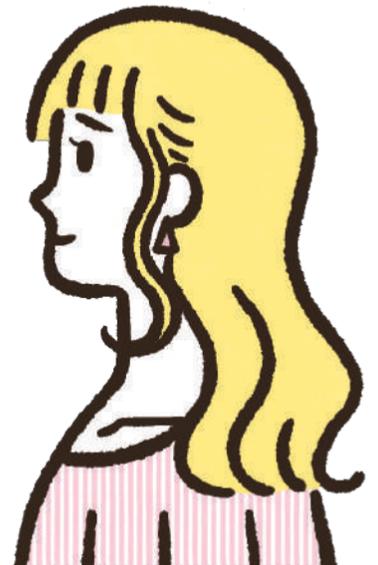
「帰ってきて」とは言えなくても、私が思う地元の良さを話してみてもいいのかな。

都会は毎日ガヤガヤしている。ここでずっと働くことを想像すると、ちょっと嫌かも。

この先、結婚して、子育てするなら、家族のそばにいられる青森がいい。

「頑張ってきて」も嬉しかったけど、「帰ってきていいんだよ」って言ってもらえたら、もっと嬉しいかも。

子どもの本音
いつか青森に
帰りたい。



この機会に親子で Uターンについて話してみませんか

若者は、「親世代の人たちが青森をどう思っているか」をよく見て、将来どこで暮らすべきかを考えています。身近な自然や人の温かさ、家族がそばにいることの幸せなど、自分なりの「青森の良さ」を親からお子さんへ伝えてみませんか。

県民だよりあおもり 6月号のこの特集を親子で共有してみませんか!



詳しくは 県民だよりあおもり



スマートフォン用アプリ「マチイロ」